

2016年11月19日(土)14時～
第63回日本学校保健学会(筑波大会)

高校生のスクール・エン ゲージメント尺度の開発

東京学芸大学大学院 教育学研究科 養護教育専攻

山岸鮎実

東京学芸大学 養護教育講座

朝倉隆司

スクール・エンゲージメントとは

...学校生活に対する積極的な姿を多次元で表した包括的な概念.

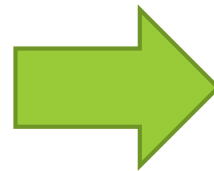
行動的エンゲージメント・・・参加

情緒的エンゲージメント・・・愛着

認知的エンゲージメント・・・戦略

Q.なぜ重要なのか？

- ▶ **健康を高める資源**である
- ▶ **学力を高める資源**である
- ▶ **そのものが健康な姿の1つ**である



スクール・エンゲージメントは、学力的な面からも保健学的な面からも学校生活の根底を支える健康になるための資源であると同時に、健康の姿そのものでもある。

本研究の目的と意義

目的

- ▶ 高校生のスクール・エンゲージメントの日本語版尺度を開発する
 - ▶ 概念を整理し, 項目を生成する (目的①)
 - ▶ 因子構造を特定する (目的②)
 - ▶ すでに関連が示されている学力や健康との関連性を確認する (目的③)

意義

- ▶ 高校生が様々な高校生活に一生懸命取り組む姿を把握することが可能になる

概念整理と項目生成（目的①）

① 概念整理・概念枠組み試案の作成

② 概念枠組み試案で足りない部分を補う
〈グループ・インタビュー〉

③ 試案の修正・操作的定義・項目の生成

④ 内容的妥当性の確認
〈グループ・インタビュー〉

〈作成した尺度項目〉

「学校生活に意欲的にポジティブな状態で一生懸命に取り組んでいる姿」(全53項目)

領域	構成要素	項目例
行動的 SE(15項目)	学業・学級・課外活動・友人関係・学校	<ul style="list-style-type: none">・ 授業に集中している・ 学校行事に積極的に参加している
情緒的 SE(19項目)	学業・学級・課外活動・友人関係・学校	<ul style="list-style-type: none">・ 授業で新しいことを学ぶのは楽しい・ この学校が好きだ
認知的 SE(19項目)	知識獲得・資質獲得	<ul style="list-style-type: none">・ 新しい知識を学んだとき、それを自分の言葉に置き換えて理解しようとする・ 自分の意見や考えをしっかりと意思表示している

質問紙調査の方法

時期：2016年3月

対象：東京都内2校の都立高校1,2年生計1030名（回答率92.5%）

質問紙の内容：

基本的特性，スクール・エンゲージメント，主観的成績評価，問題解決能力，健康指標（健康行動，安全行動，身体症状，抑うつ）

倫理的配慮：東京学芸大学倫理審査委員会の承認を得て実施

分析方法

①探索的因子分析による因子構造の特定

②確認的因子分析による構成概念妥当性の検討

③相関分析による基準関連妥当性の検討

目的②

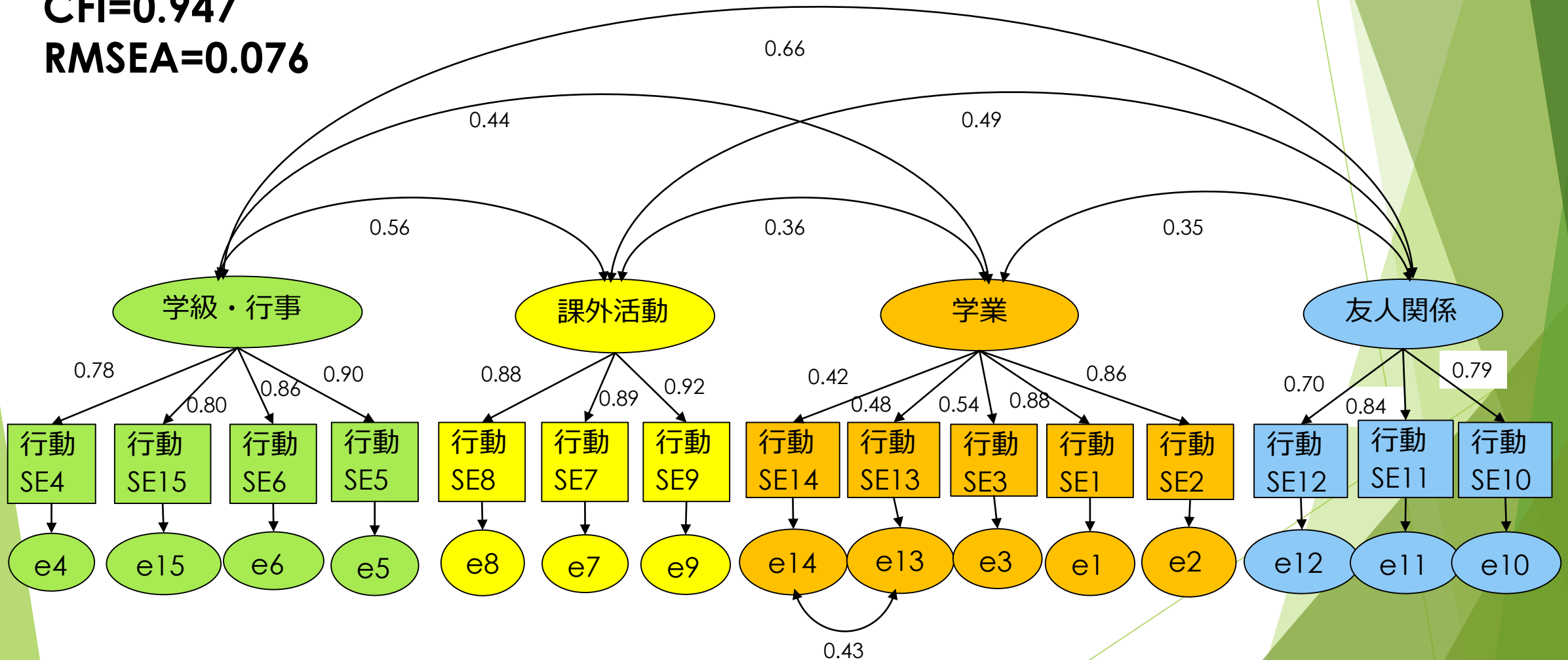
目的③

分析結果①行動SE確認の因子分析結果

$\alpha=0.901$

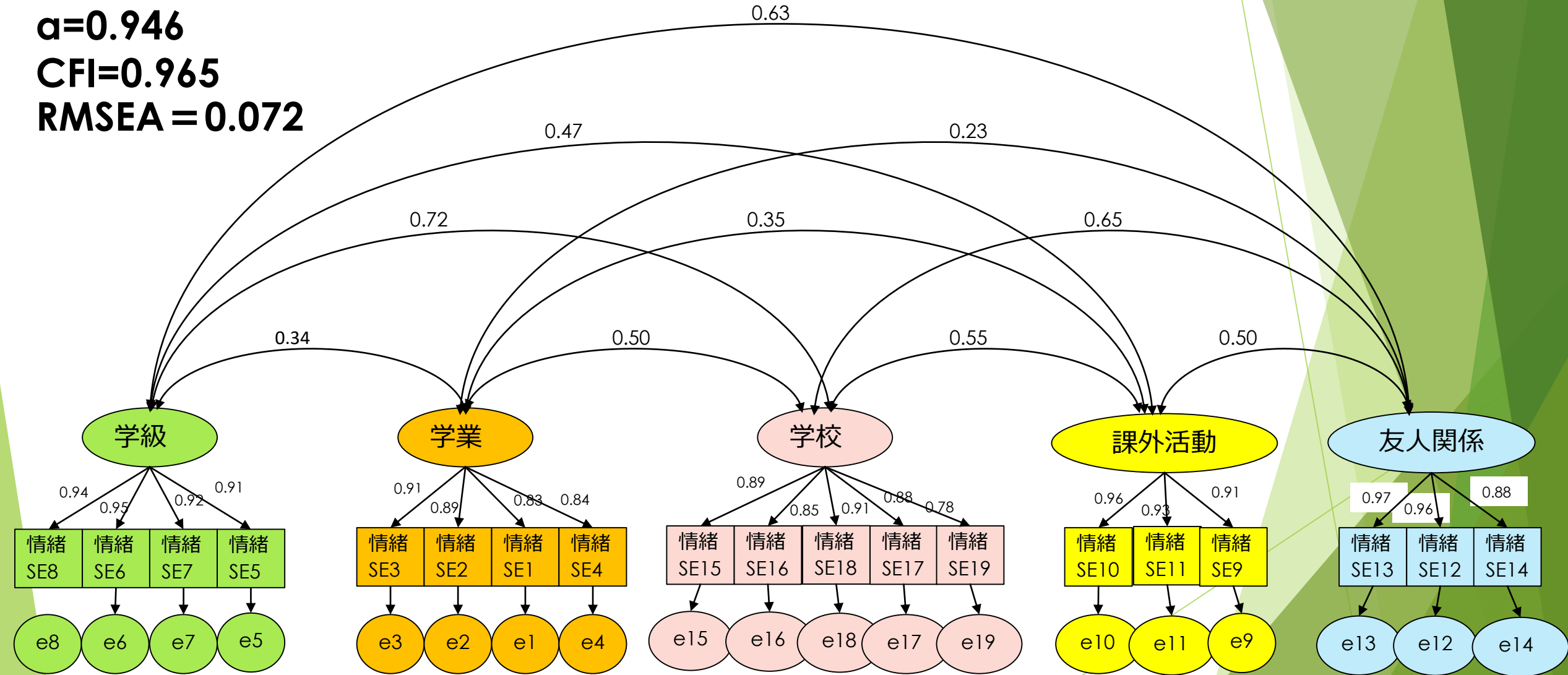
CFI=0.947

RMSEA=0.076



分析結果②情緒SE確認の因子分析結果

$\alpha=0.946$
 CFI=0.965
 RMSEA = 0.072

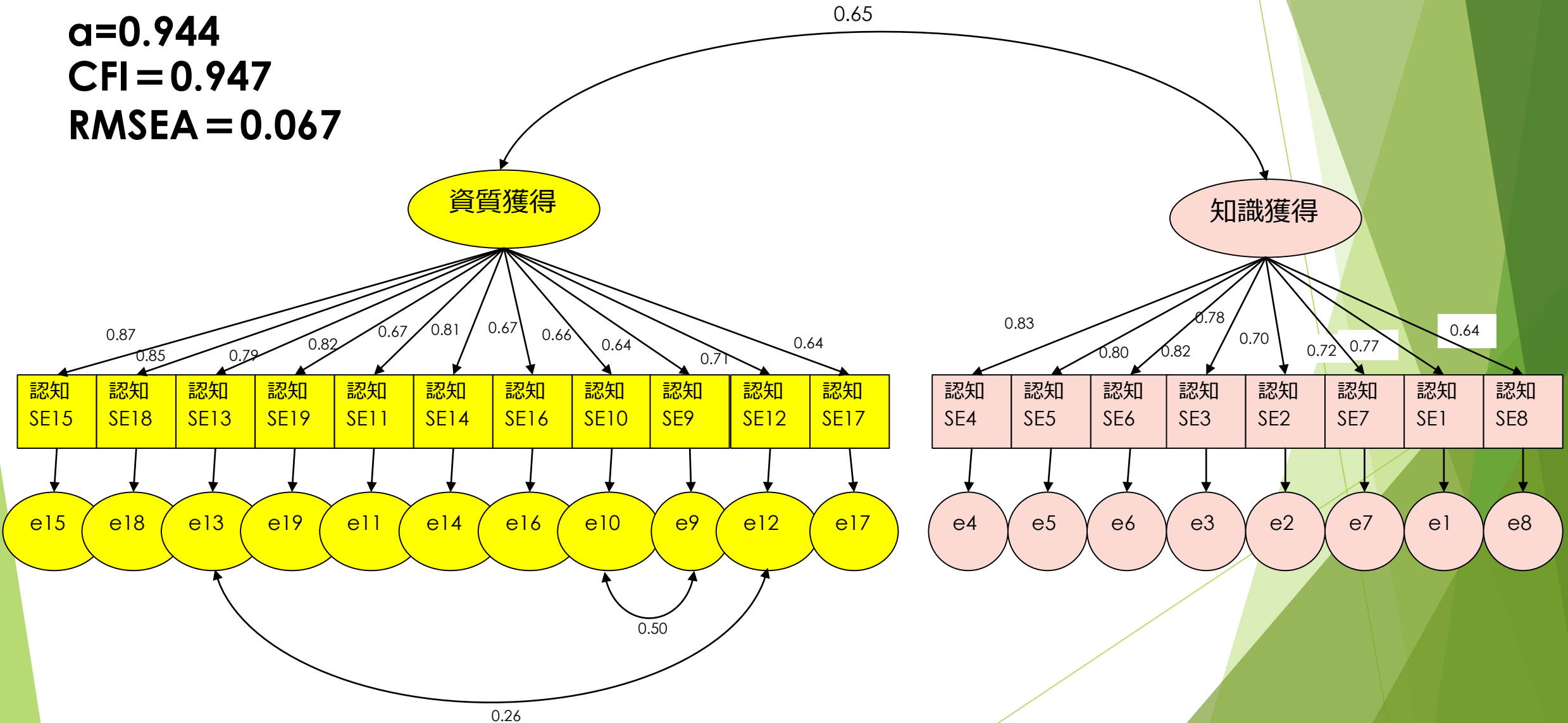


分析結果① 認知SE確認的因子分析結果

$\alpha=0.944$

CFI = 0.947

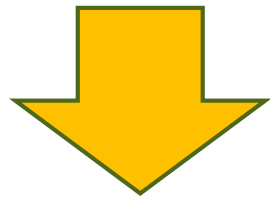
RMSEA = 0.067



因子構造の特定（目的②）

いずれの領域においても,

- ▶ 信頼性を示す α 係数は0.90以上
- ▶ CFIは0.94以上
- ▶ RMSEAは0.08以下



信頼性・構成概念妥当性のある因子構造を特定できた。

分析結果④ 相関分析の結果

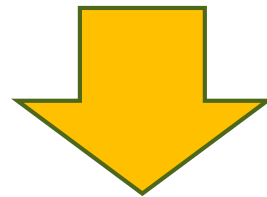
	主観的成績	問題解決能力	健康			健康		
			健康行動			安全行動	心身の健康度	
	主観的成績評価	マスタリー	運動	朝食摂取	栄養	交通安全	身体症状得点	抑うつ得点
行動SE	.200**	.358**	.358**	.295**	.349**	.187**	-.213**	-.220**
情緒SE	.086*	.299**	.340**	.268**	.334**	.225**	-.233**	-.224**
認知SE	.233**	.449**	.311**	.250**	.387**	.234**	-.211**	-.196**

** . 相関係数は 1%水準で有意 (両側)

- SE (行動・認知) が高いほど、主観的成績評価が高い
- SEが高いほど、問題解決能力が高い
- SEが高いほど、健康行動・安全行動が促進され、身体症状・抑うつが低くなる

すでに関連が示されている 学力や健康との関連（目的③）

「スクール・エンゲージメントは、学業達成を促進し、健康促進行動を促し、健康阻害行動を抑制する。」



先行研究とほぼ同様に、学力・健康との
関連を確認することができた。

結論

開発した高校生のスクール・エンゲージメント尺度は、
高校生の健康な学校生活を支える資源であり健康の姿の
一つであるスクール・エンゲージメントを測る上で、
信頼性・妥当性のある尺度として開発することができた。

参考文献

- 1) Measuring School Climate in High Schools: A Focus on Safety, Engagement, and the Environment : Catherine P. Bradshaw, PhD : Journal of School Health : September 2014, Vol.84, No.9
- 2) Student engagement and its relationship with early high school dropout : Isabell Archambault : Journal of adolescence 32 (2009) 651-670
- 3) School Engagement: Potential of the Concept, State of the Evidence : Jennifer A. Fredericks : Review of Educational Research Spring 2004, Vol.74, No.1, pp.59-109
- 4) SELF-EFFICACY, GOAL ORIENTATION, AND FEAR OF FAILURE AS PREDICTORS OF SCHOOL ENGAGEMENT IN HIGH SCHOOL STUDENTS : KIRSTEN CARAWAY AND CAROLYN M. TUCKER : Psychology in the Schools, Vol. 40(4), 2003
- 5) Health outcomes in adolescence: Associations with family, friends and school engagement : Journal of adolescence 30 (2007) 51-62 : Melisse Carter, Rob McGee, Barry Taylor, Sheila Williams
- 6) Student engagement and its relationship with early high school dropout : Isabelle Archambault : Journal of Adolescence 32 (2009) 651-670
- 7) The Lancet, 379,2012,1567-1568 adolescent health in 21th century
- 8) 文部科学省 子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/053/shiryo/attach/1282789.htm
- 9) Toward an Understanding of Definitions and Measures of School Engagement and Related Terms : The California School Psychologist, Vol. 8, pp.7-27, 2003
- 10) Health outcomes in adolescence: Associations with family, friends and school engagement : Journal of adolescence 30 (2007) 51-62 : Melisse Carter, Rob McGee, Barry Taylor, Sheila Williams
- 11) Psychological Distress and Student Engagement as Mediators of the Relationship between Peer Victimization and Achievement in Middle School Youth : Christine M. Wienke Totura : J Youth Adolescence (2014) 43:40-52
- 12) Structural Equation Modeling in Rehabilitation Counseling Research ; RCB 51:1 pp.53-66 (2007)